

保護者 様

仙台市立栗生小学校
校長 熊谷 礼子

「教育活動に関するアンケート結果」について

立春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。さて、11月末に実施いたしました「教育活動に関するアンケート」の結果につきまして、ご報告いたします。

■ 実施日 平成29年11月22日(水)～12月1日(金)

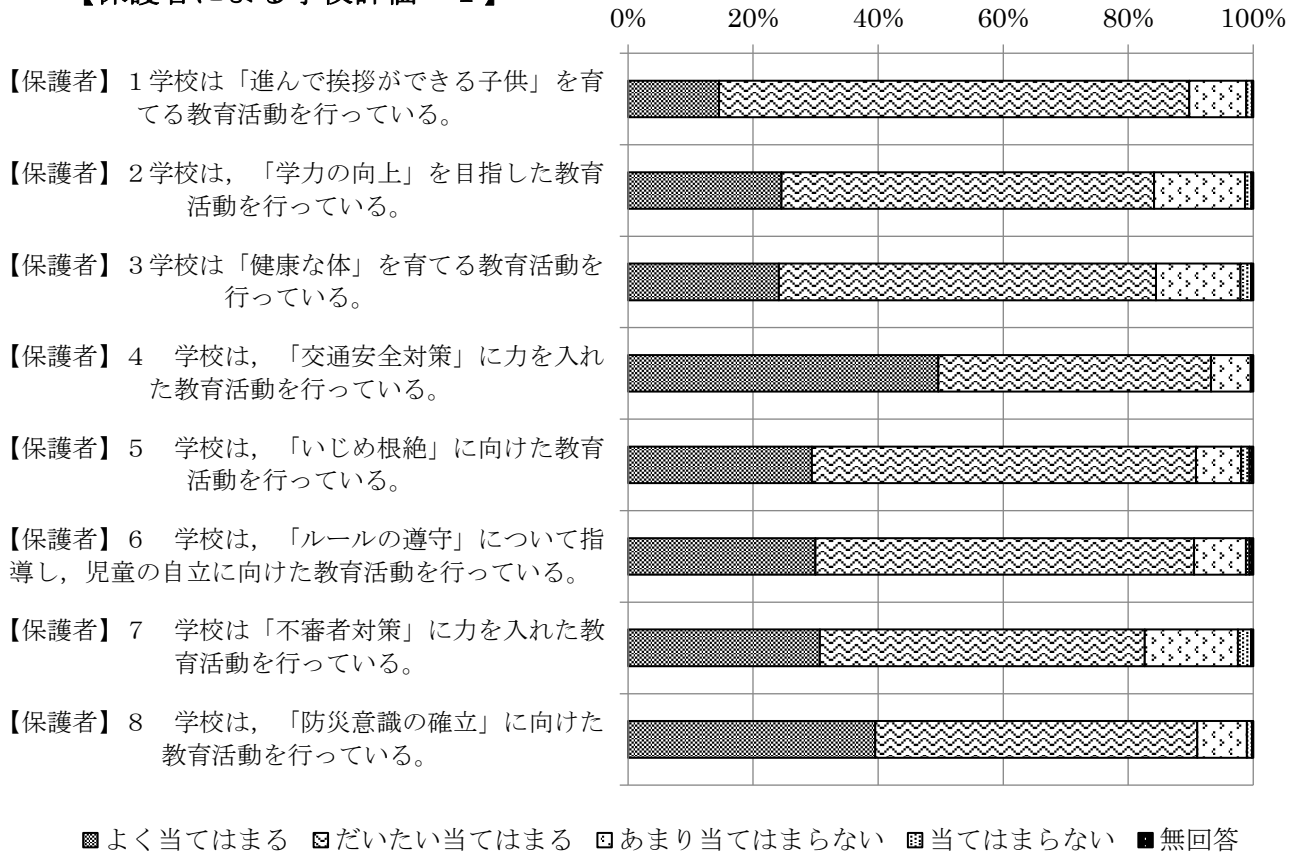
■ 対象者 仙台市立栗生小学校 保護者、児童、教職員

1 今年度の協働型学校評価目標について

今年度は下記の事項を重点目標とし、取り組んでまいりました。

今年度の重点目標「学校や家庭・地域で安全に、そして安心して生活できるようにする」
○交通安全対策 ○いじめ根絶 ○ルールの遵守 ○不審者対策 ○防災意識の確立

【保護者による学校評価 1】



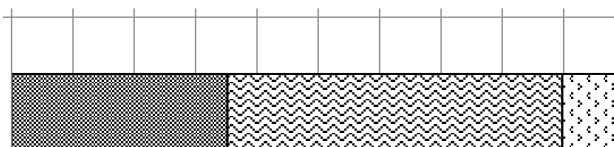
【保護者による学校評価】についての考察

どの項目についても、およそ80%以上の保護者の皆様に「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」とご回答いただきました。学校の取組に一定の評価をいただいたものと考えております。ただ、「進んで挨拶ができる子供」「学力の向上」「不審者対策」については、厳しい評価もいただきました。今後とも全職員で子供たちを見守り、保護者の皆様との連携を一層密にしていきたいと思っております。特に挨拶がしっかりできる子供を育てること、学力の向上が本校の課題だということが分かりました。

【保護者による自己評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【保護者の自己評価】1 家庭では、お子さんが自ら挨拶できるように、大人が「やってみせ」「できたらほめる」ことを続けている。



【保護者の自己評価】2 家庭では、お子さんが粘り強く学習できるように、頑張りを認めて褒めたり、努力を継続できるように励ましたりした。



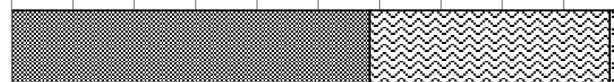
【保護者の自己評価】3 家庭では、お子さんと一緒に生活の仕方を振り返り、「早寝・早起き・朝ご飯」が実行できるように励まし、体を鍛えるように働き掛けている。



【保護者の自己評価】4 家庭では、お子さんが交通事故に遭わないように、道路の歩き方や自転車の乗り方に気を付けるよう、働き掛けている。



【保護者の自己評価】5 家庭では、「いじめは絶対にしてはならない」ということについて、お子さんと一緒に話し合ったり、学校での様子（友人関係など）についてお子さんから話を聞いたりしている。



【保護者の自己評価】6 家庭では、お子さんと一緒に生活の仕方を振り返り、家庭での約束やテレビの視聴、ゲームやネットをする時間について確認し、ルールを守って生活するように働き掛けている。



【保護者の自己評価】7 家庭では、不審者に遭遇したときの行動の仕方をお子さんと一緒に話し合ったり、帰宅時間を守るように働き掛けたたりしている。



【保護者の自己評価】8 家庭では、災害時の行動の仕方をお子さんと一緒に話し合い、安全に行動できるように働き掛けている。



■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

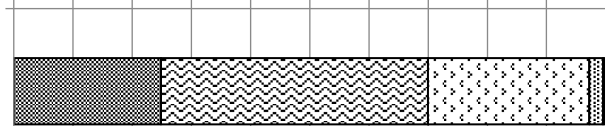
【保護者による自己評価】についての考察

ご家庭での取組の中では、「いじめ根絶」についての評価が高い傾向にありました。「災害時の行動の仕方」などお子さんの安心・安全の確保につきましては、保護者の皆様からの働き掛けもぜひお願いしたいと思います。今年度は弾道ミサイルの発射など、新たな危機管理が求められる年でした。学校のホームページにもその情報のリンクがありますので、ご家族で確認いただければと思います。

【保護者による児童評価 1】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【保護者による児童評価】1 お子さんは家庭や地域で、自分から進んで挨拶をしている。



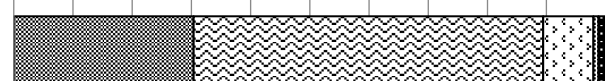
【保護者による児童評価】2 お子さんは「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じながら、粘り強く学習に取り組んでいる。



【保護者による児童評価】3 お子さんは「早寝・早起き・朝ご飯」を実行し、外遊びやスポーツを通して体を鍛えている。



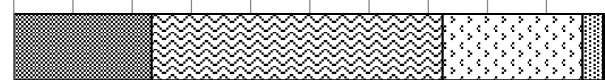
【保護者による児童評価】4 お子さんは、交通事故に遭わないように、道路の歩き方や自転車の乗り方に気を付け、交通ルールを守っている。



【保護者による児童評価】5 お子さんは「いじめは絶対にしてはならない」と考えており、学校での様子（友人関係など）について家庭で話をしている。



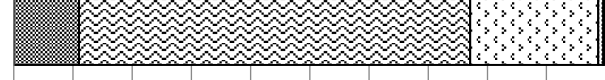
【保護者による児童評価】6 お子さんは、自分の生活を振り返り、家庭での約束やテレビ視聴、ゲームやネットをする時間などを守って生活している。



【保護者による児童評価】7 お子さんは、不審者に遭遇したときの行動の仕方を理解し、帰宅時間を守っている。



【保護者による児童評価】8 お子さんは、地震が起きたときの行動などについて理解している。

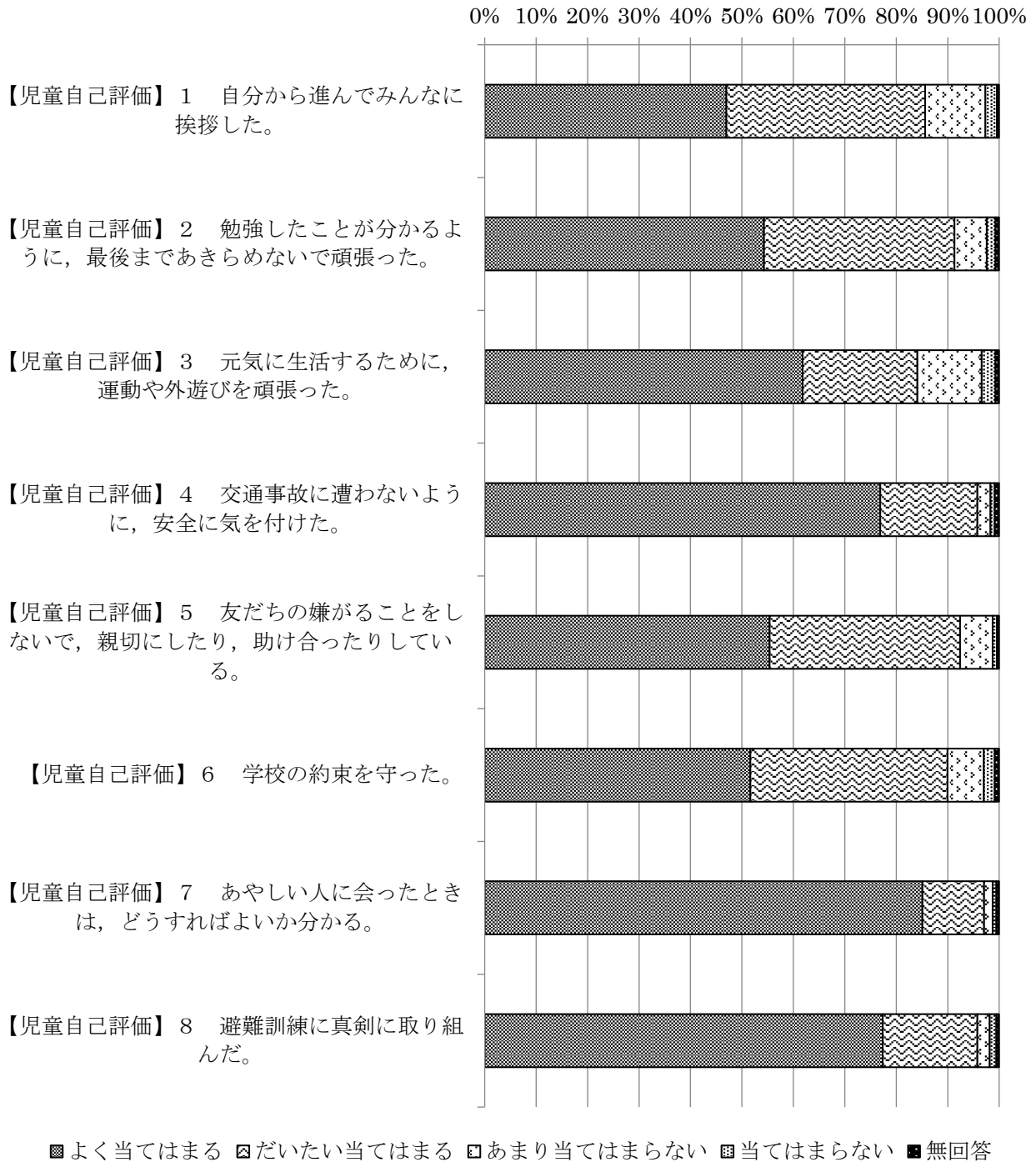


■よく当てはまる □だいたい当てはまる ▨あまり当てはまらない ▩当てはまらない ■無回答

【保護者による児童評価】についての考察

保護者による児童評価については、お子さんが「交通ルールを守っている」「いじめは絶対いけない」と考えていると回答した保護者が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせると90%近くになりました。学校でも、お子さんが交通ルールを守って安全に登下校できるよう指導するとともに、いじめは絶対に許されないことだということを徹底して指導しています。一方、「ルールの遵守」については20%近い保護者が「あまり当てはまらない」と回答しています。ゲームやテレビを見る時間があまり守られていないという実態があり、スマホ等の使い方についても不安を感じている保護者の方が増えているようです。改めてお子さんと確認していただくと幸いです。「自分から進んで挨拶」「粘り強く学習に取り組む」ことの評価では、「当てはまらない」と回答された保護者の方が多くなりました。今後の学校の課題として重く受け止め、指導に改善を図っていきたいと思います。

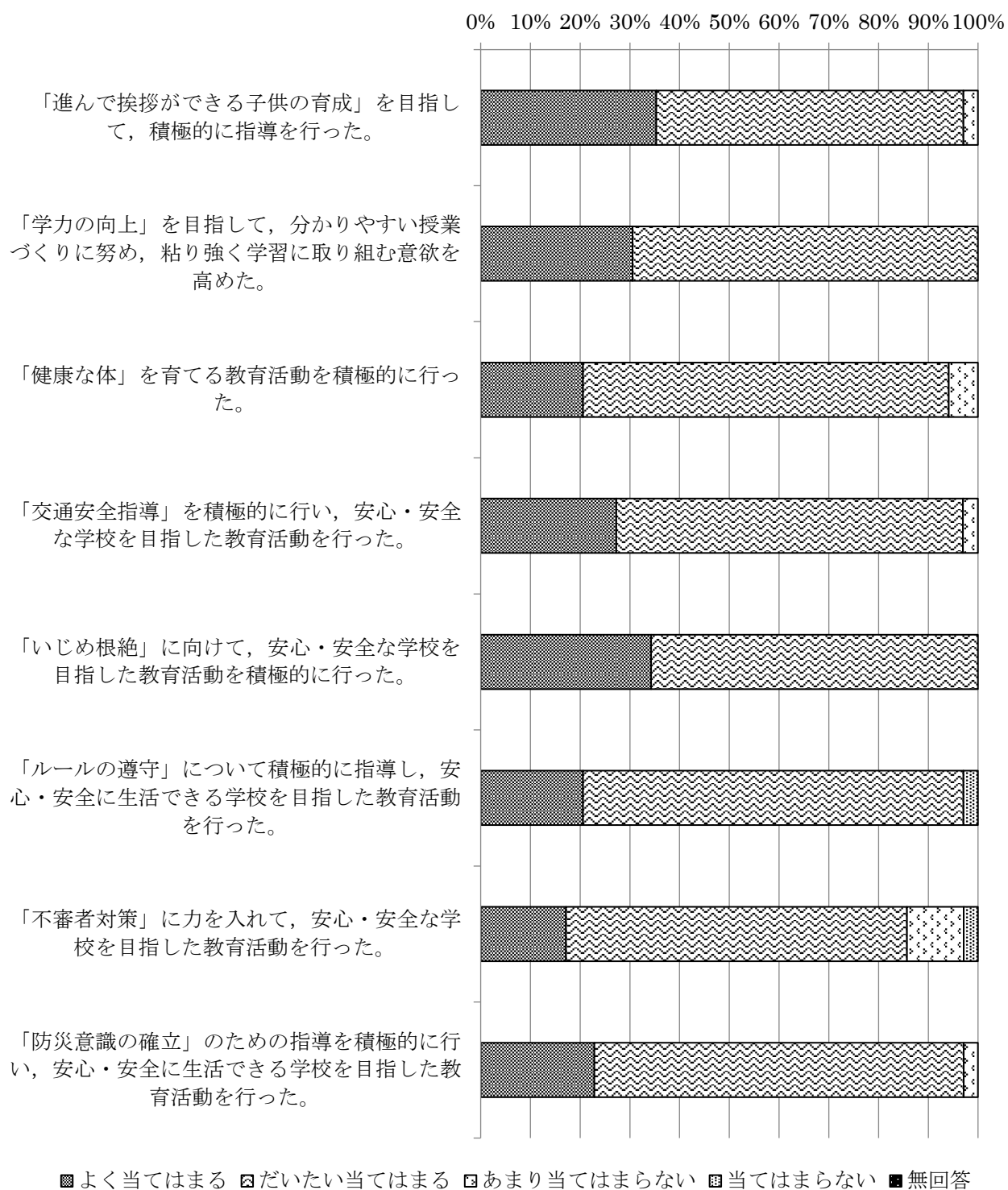
【児童自己評価 1】



【児童による自己評価】についての考察

児童による自己評価の結果は、「交通安全対策」と「不審者対策」への意識が高い傾向にあります。子供たちも、保護者の皆様同様、安全・安心への意識は高いことがうかがえます。その一方、「挨拶」と「学校の約束」については、児童は「よく当てはまる」と思っている割合は半数程度で、保護者や教師の評価と同じ傾向にあります。自分から進んで挨拶をすることについては、学校でも継続して指導していく必要があります。ご家庭でもぜひ声掛けをお願いしたいと思います。「学校の約束」については毎月の目標を朝会等で確認し、さらにクラスでも指導しているところです。全職員で指導の方向を統一し、児童に伝えていきます。ご家庭のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【教師による学校評価】



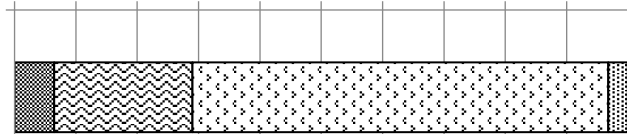
【教師による学校評価】についての考察

教師による学校評価の結果としては、「挨拶」「学力の向上」と「いじめ根絶」について力を入れている傾向があります。「いじめ根絶」に向けて、事案が発生したときには即、複数のメンバーで対応を協議し取り組んだと感じている教師が多いことが分かります。一方、「進んで挨拶をする」については、「よく当てはまる」と回答した割合は35%でした。教師自らが率先して挨拶の言葉を掛け、明るい挨拶が飛び交う学校になるよう努めてまいります。保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【教師による児童評価】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

栗生小の子供たちは、自分から進んで挨拶をしている。



栗生小の子供たちは、「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じながら、意欲的に学び、互いの考えを伝えたり聞いたりするなど、学び合う姿勢が身に付いている。



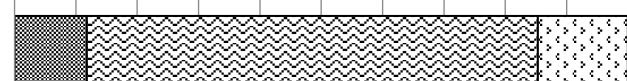
栗生小の子供たちは、自分の体や食に関心を持ち、「早寝・早起き・朝ご飯」を実行しようとしたり、進んで体を鍛えようとしたりするなど、健康に生活しようとする意識が高まった。



栗生小の子供たちは、交通安全について必要なことを理解し、進んで交通ルールを守るとともに、安全に行動する態度や能力が身に付いている。



栗生小の子供たちは、いじめは絶対にいけないことだと認識し、相手の立場に立って考え、思いやる気持ちが育っている。



栗生小の子供たちは、学校の決まりを守って生活している。



栗生小の子供たちは、不審者に対する正しい知識や対応方法を身に付けている。



栗生小の子供たちは、災害に対する正しい知識や対応方法を身に付けている。

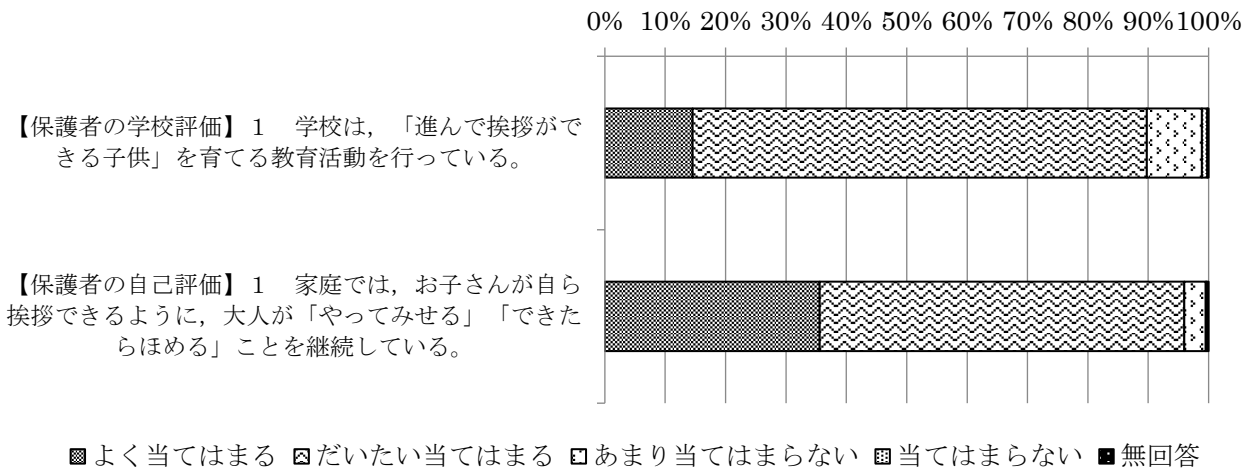


■よく当てはまる □だいたい当てはまる □あまり当てはまらない □当てはまらない ■無回答

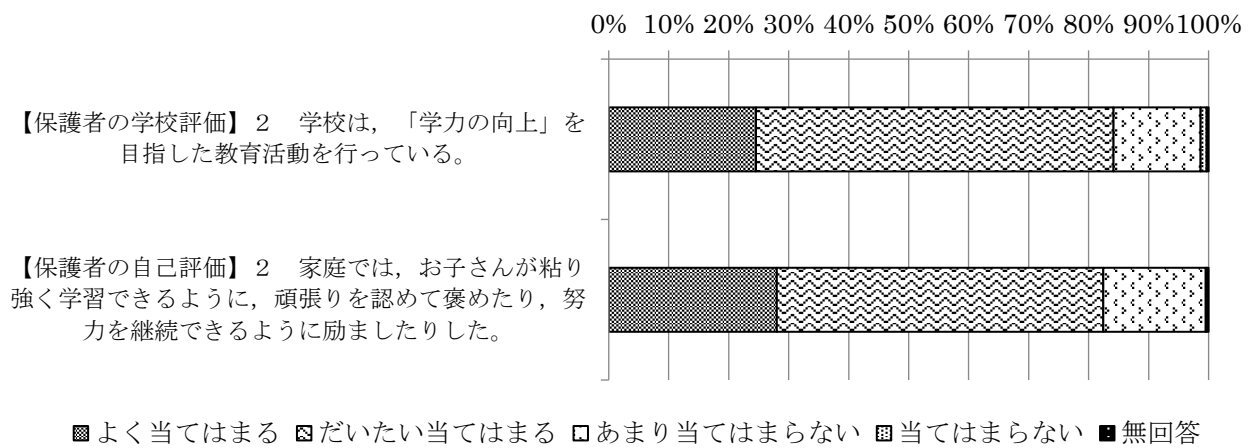
【教師による児童評価】についての考察

教師による児童評価につきましては、「挨拶」についての評価が保護者の方と同様に低い傾向にありました。子供たちの姿から指導の成果を感じられない教師が多いことが分かります。子供たちにもっと進んで挨拶ができるように指導する具体的な対策を考えていきたいと思えます。「いじめ根絶」に対する意識は「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせると85%になりますが、更に高めていくよう働きかけていく必要があります。そのためにも相手を思いやる気持ちを持ち、落ち着いて学校生活を過ごせるよう更に指導していきたいと考えています。学校全体で一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

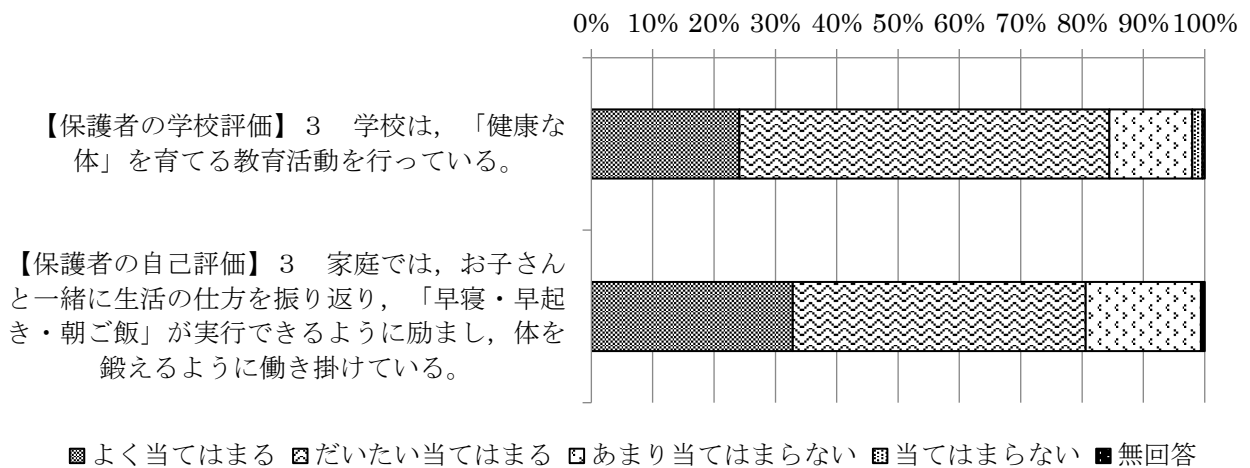
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 1】
「進んで挨拶ができる子供」



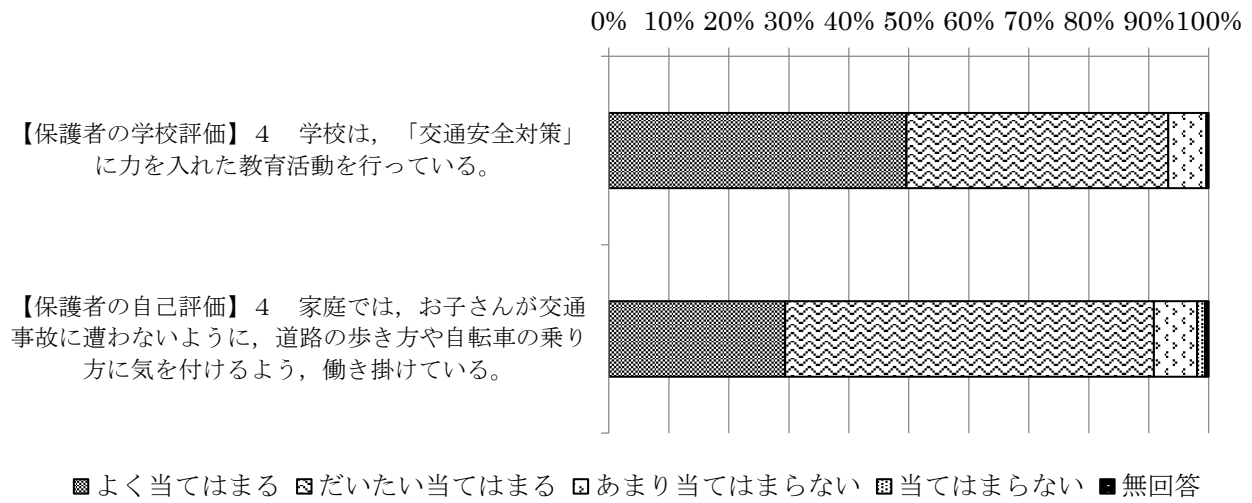
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 2】
「学力の向上」



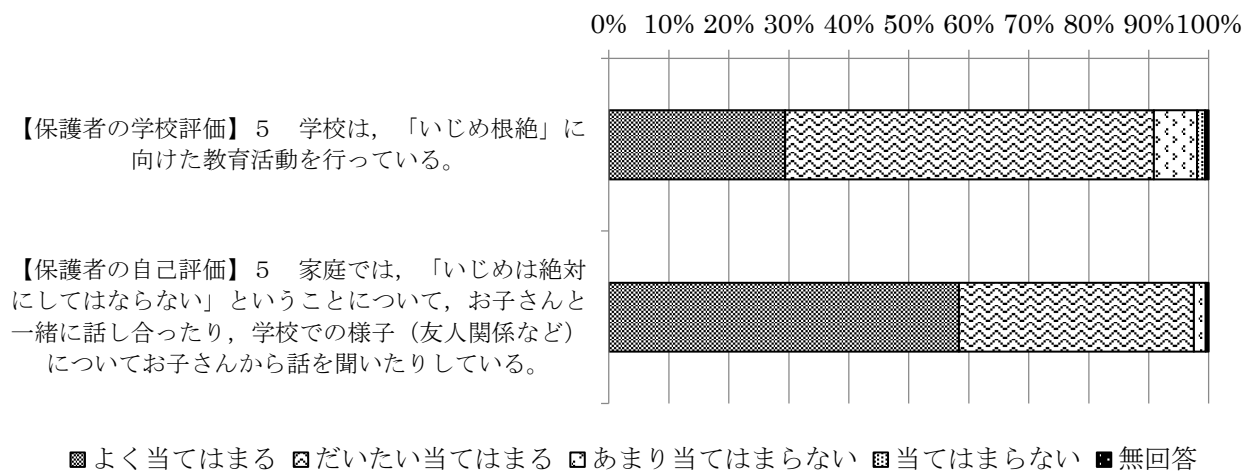
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 3】
「健康な体」



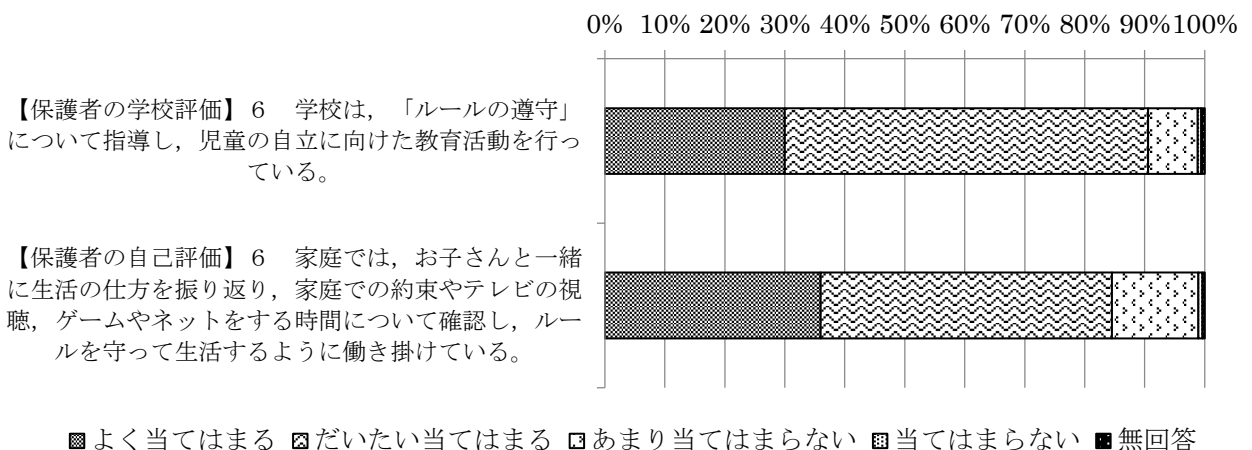
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 4】
「交通安全対策」



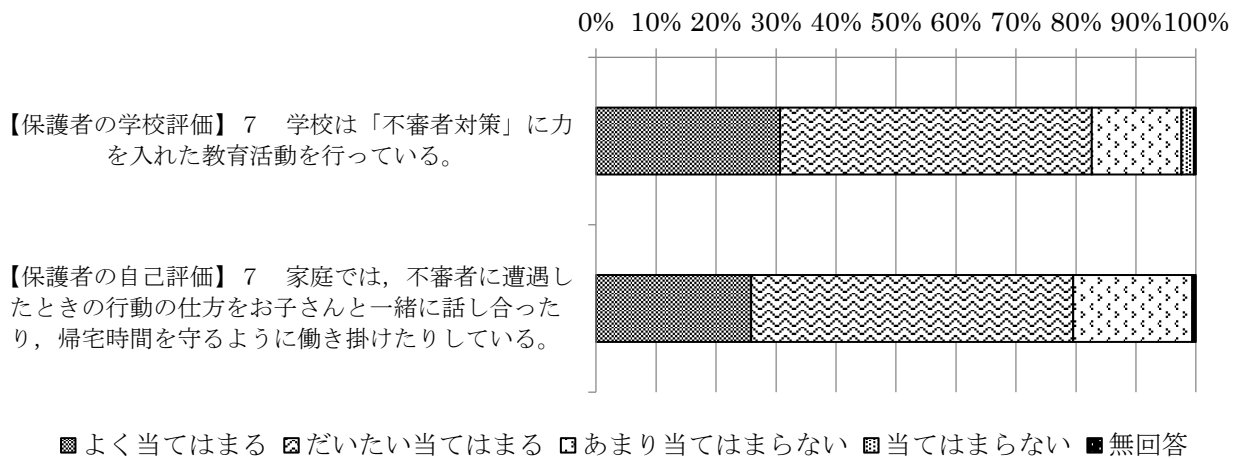
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 5】
「いじめ根絶」



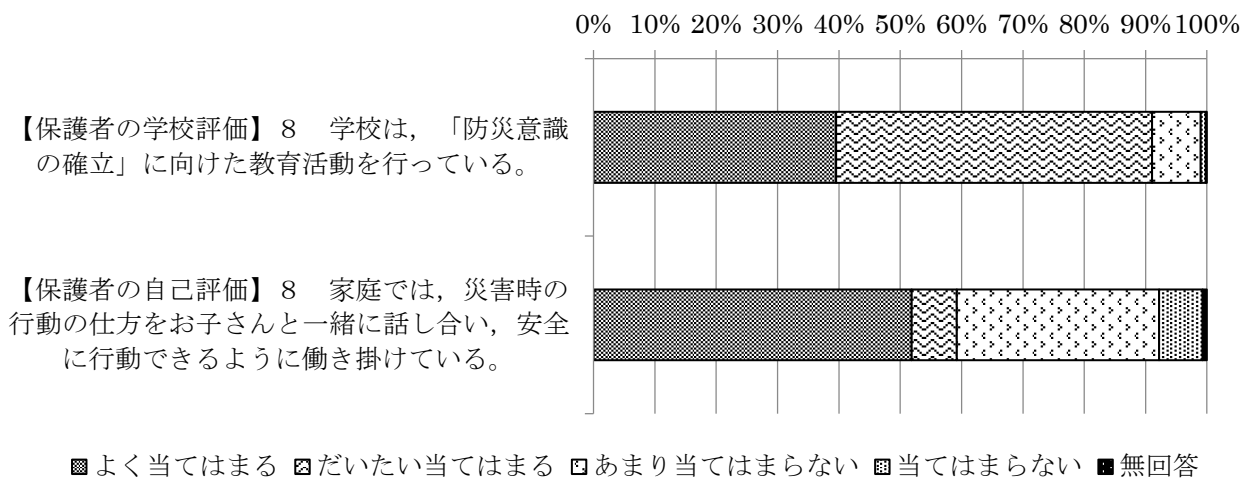
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 6】
「ルールの遵守」



【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 7】 「不審者対策」



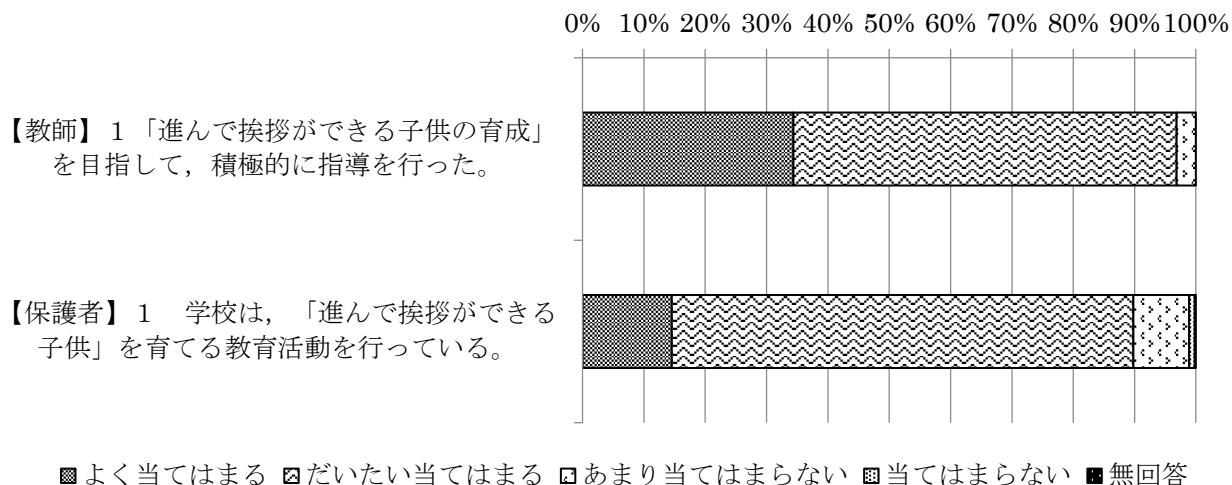
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較 8】 「防災意識の確立」



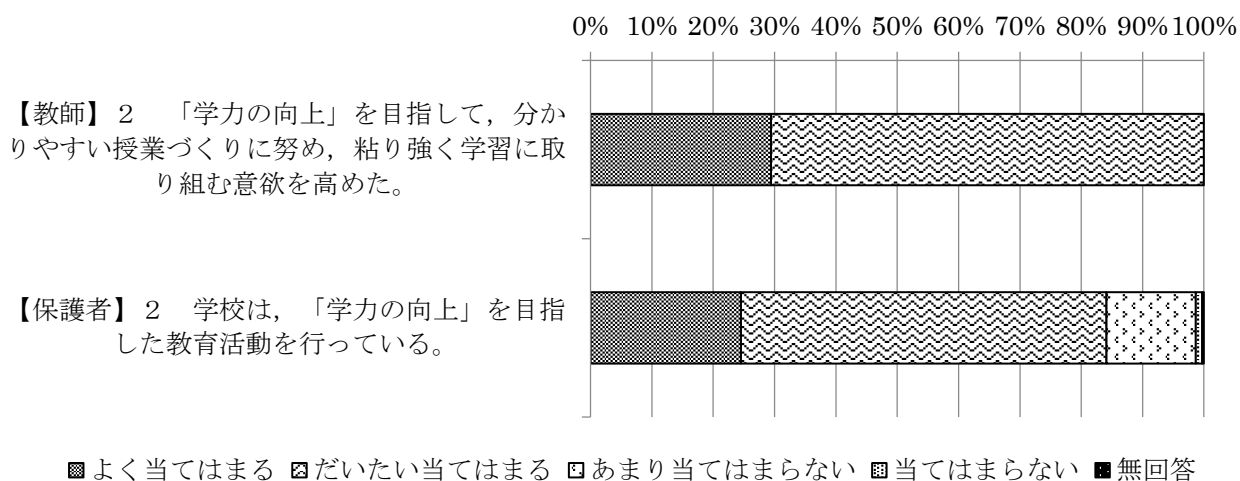
【保護者による学校評価と保護者による自己評価の比較】についての考察

「学力向上」「不審者対策」については、ほぼ同じような傾向が見られました。保護者による自由記述において、「挨拶」を返さない児童が多いと感じている方が結構いらっしゃる事が分かりました。保護者の自己評価では、「家庭でお子さんが自ら挨拶できるように働きかけている」が36%に対し、「学校は、進んで挨拶ができる子供を育てている」は15%ほどでした。学校でもなお一層「挨拶」の大切さについて指導を考えていきたいと思えます。「いじめ対策」については、学校の取組に対する評価が「よく当てはまる」と回答された保護者は30%ほどでした。一方、保護者の自己評価では「よく当てはまる」が60%近くになります。「いじめ根絶」への保護者の方の意識が高く、いじめ根絶に向けての学校の更なる取組を期待する思いを感じます。

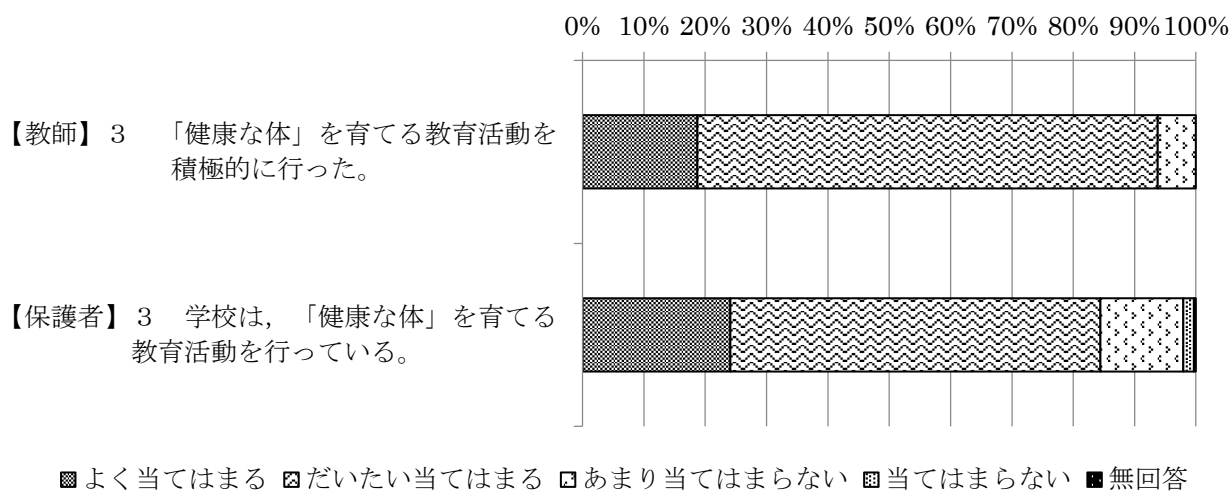
【教師による学校評価と保護者による学校評価 1】



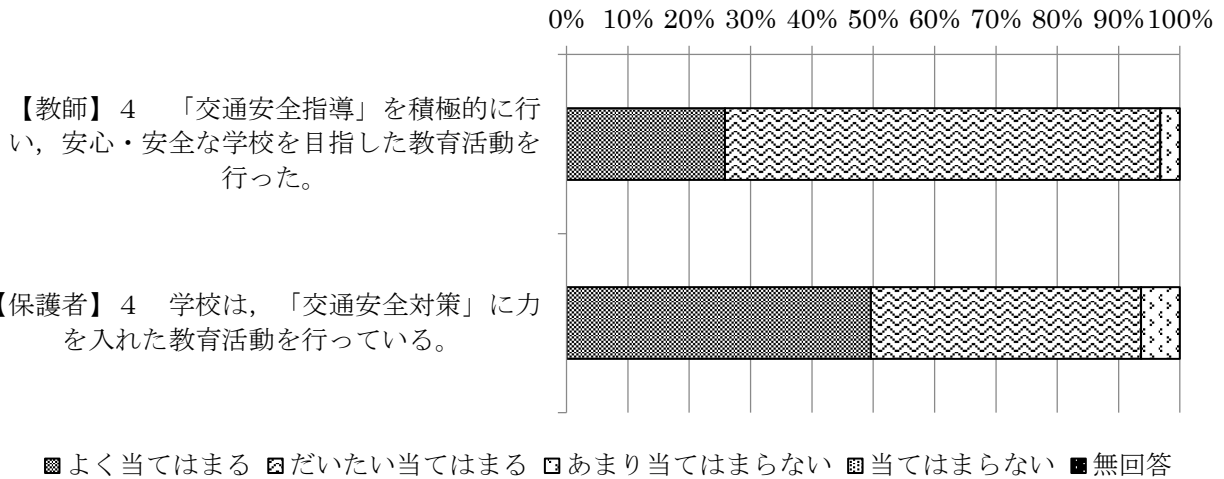
【教師による学校評価と保護者による学校評価 2】



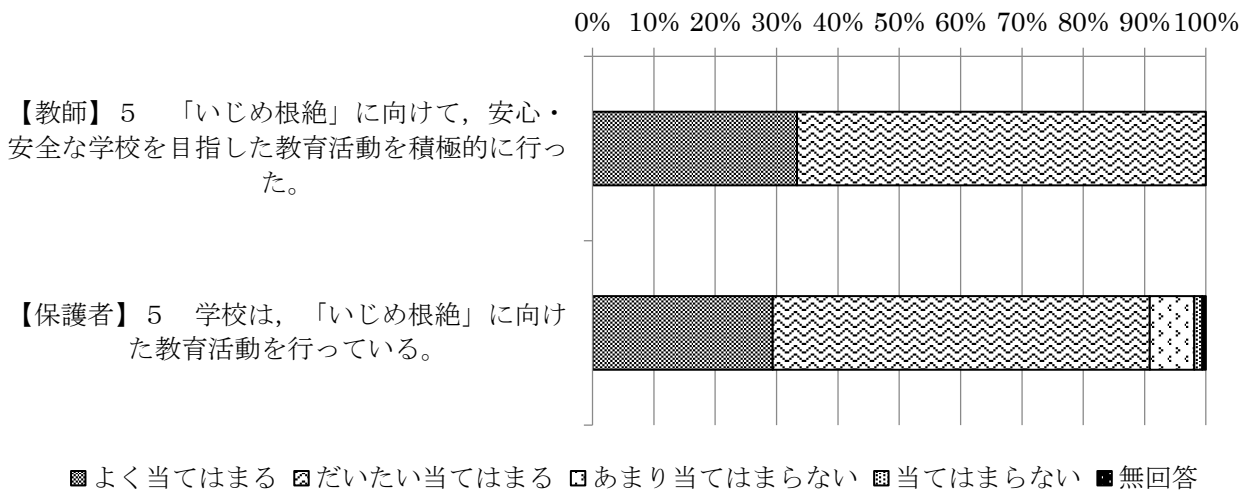
【教師による学校評価と保護者による学校評価 3】



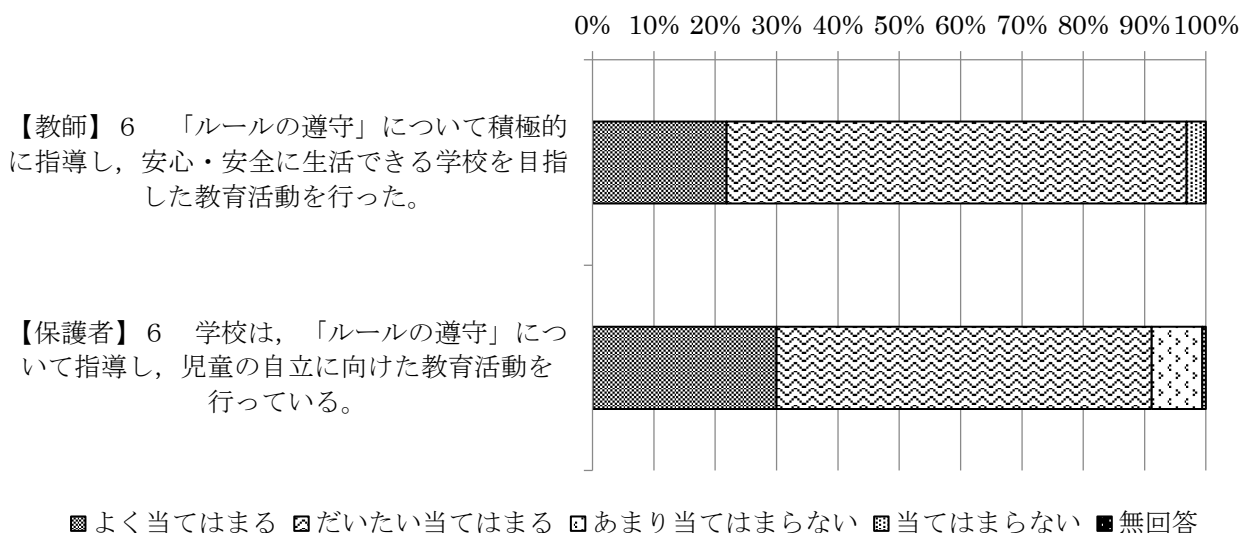
【教師による学校評価と保護者による学校評価 4】



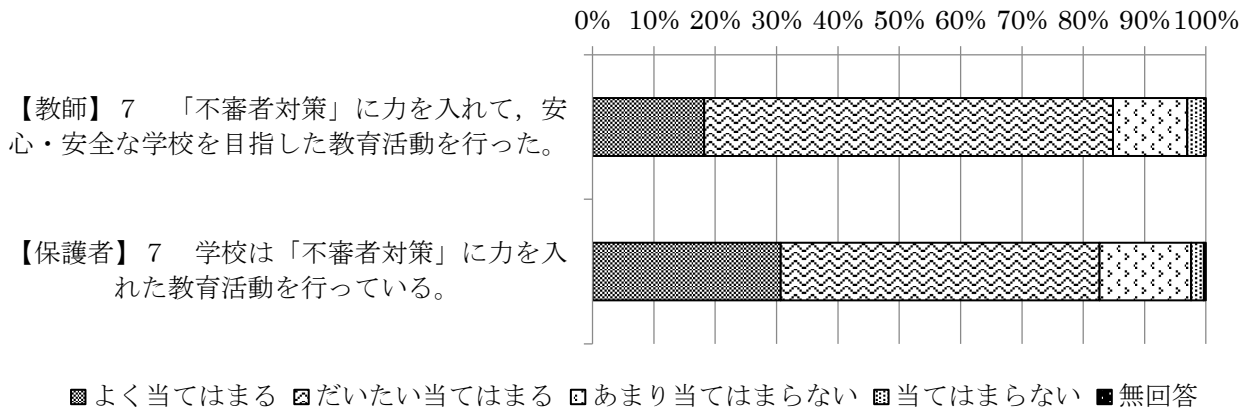
【教師による学校評価と保護者による学校評価 5】



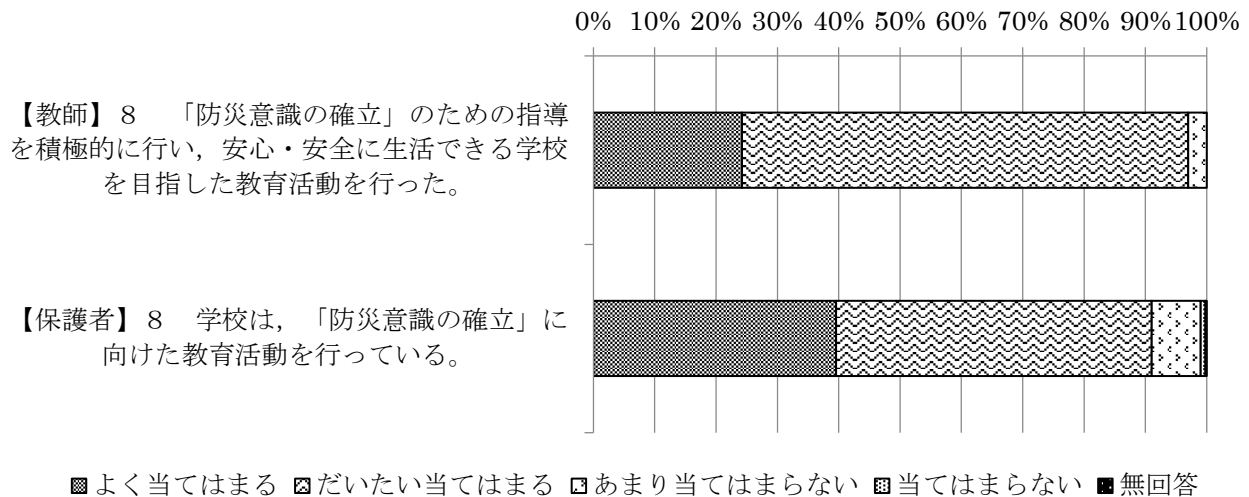
【教師による学校評価と保護者による学校評価 6】



【教師による学校評価と保護者による学校評価 7】



【教師による学校評価と保護者による学校評価 8】



【教師による学校評価と保護者による学校評価の比較】についての考察

「進んで挨拶ができる子供の育成」では、教師の学校評価では35%が「よく当てはまる」と回答していますが、保護者の評価では学校の教育活動に「よくあてはまる」との回答は16%に留まっています。また、10%の保護者の方から「当てはまらない」と評価をいただいています。挨拶の指導に対する学校の更なる取組への思いを感じます。「学力向上」に関して、教師による学校評価では「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」で100%ですが、15%の保護者の方から「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答がありました。保護者の方にご理解いただけるよう、学校として更なる指導方法の工夫と改善を図っていきたくと考えています。

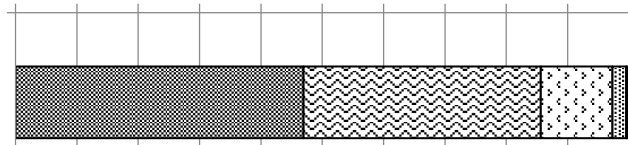
「交通安全対策」については、保護者の方に「よく当てはまる」と50%の回答をいただいています。保護者の皆様から更に信頼していただけるよう、一層努力してまいります。また学校の取組の内容をご理解いただけるよう、機会をとらえて丁寧に説明してまいります。「不審者対策」と「防災意識の確立」については、保護者による学校評価で「よく当てはまる」と回答いただいた割合が30%、40%ですが、教師の評価は18%、25%でした。学校においてもしっかりと取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【児童による自己評価と保護者による児童評価 1】

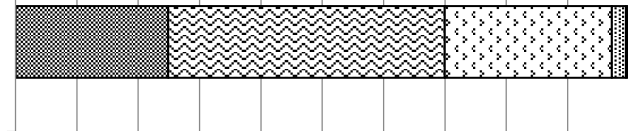
「進んで挨拶ができる子供」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 1 自分から進んでみんなに挨拶した。



【保護者による児童評価】 1 お子さんは家庭や地域で、自分から進んで挨拶をしている。

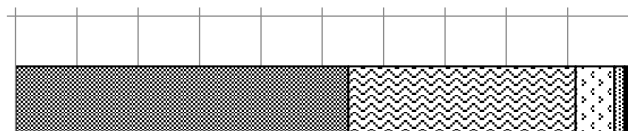


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

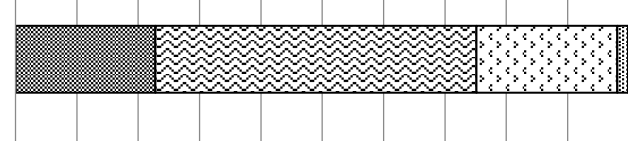
【児童による自己評価と保護者による児童評価 2】 「学力の向上」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 2 勉強したことが分かるように、最後まであきらめなくて頑張った。



【保護者による児童評価】 2 お子さんは「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じながら、粘り強く学習に取り組んでいる。

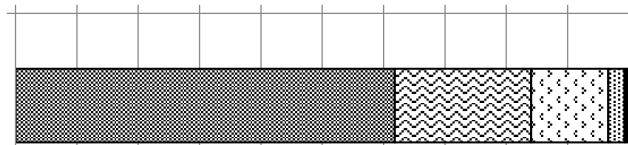


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

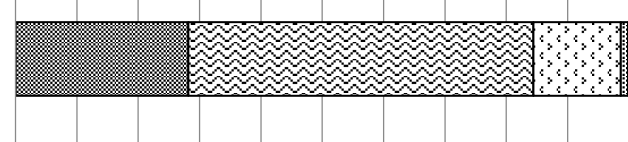
【児童による自己評価と保護者による児童評価 3】 「健康な体」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 3 元気に生活するために、運動や外遊びを頑張った。



【保護者による児童評価】 3 お子さんは「早寝・早起き・朝ご飯」を実行し、外遊びやスポーツを通して体を鍛えている。

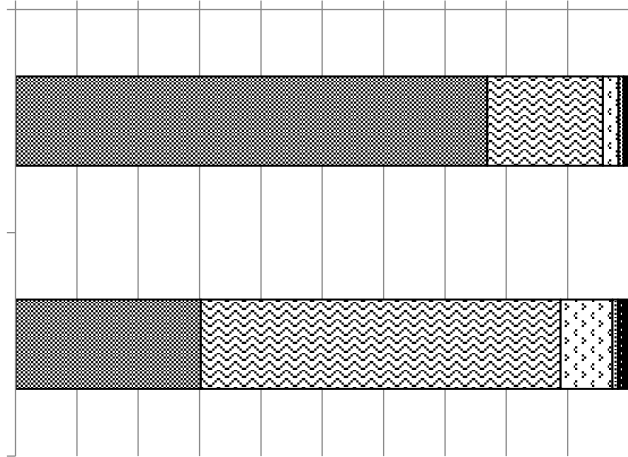


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 4】 「交通安全」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 4 交通事故に遭わないように、安全に気を付けた。

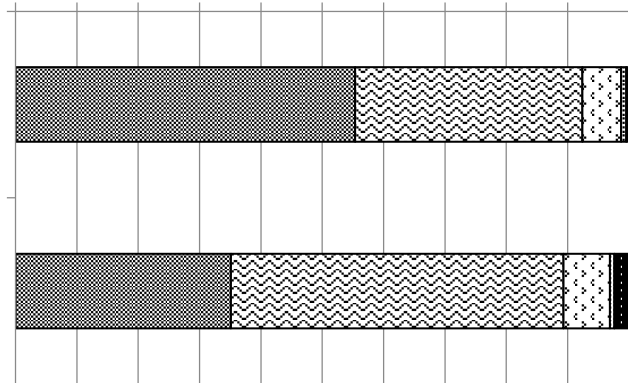


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 5】 「いじめの根絶」

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 5 友だちの嫌がることをしないで、親切にしたり、助け合ったりしている。

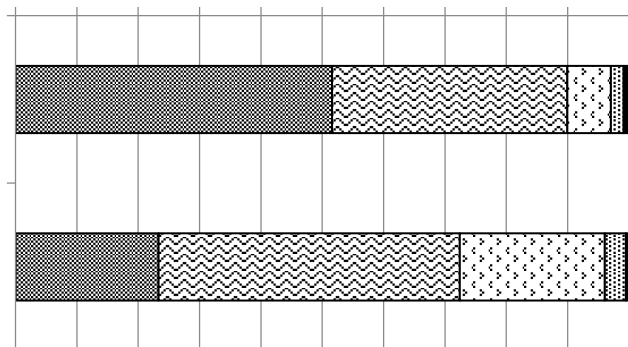


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 6】 「ルールを守る」

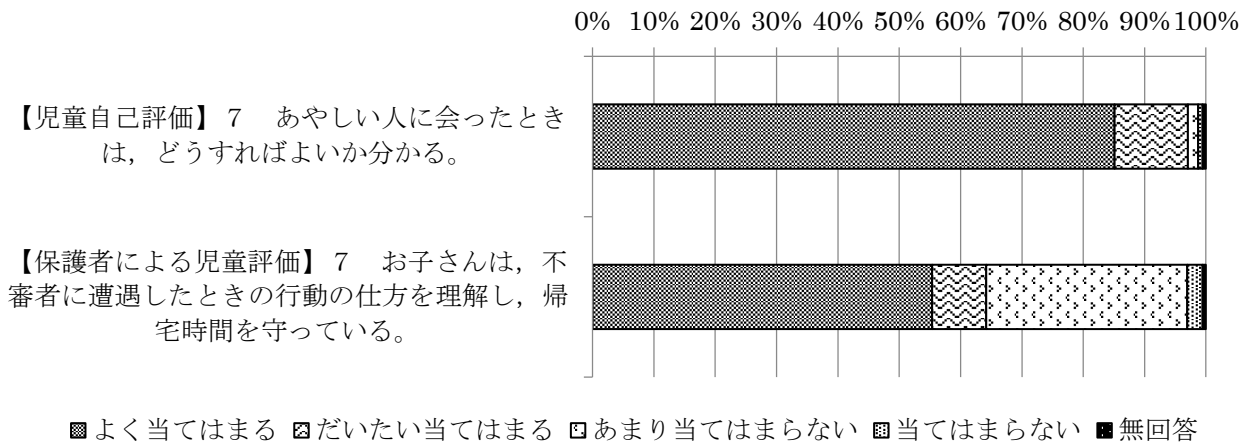
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【児童自己評価】 6 学校の約束を守った。

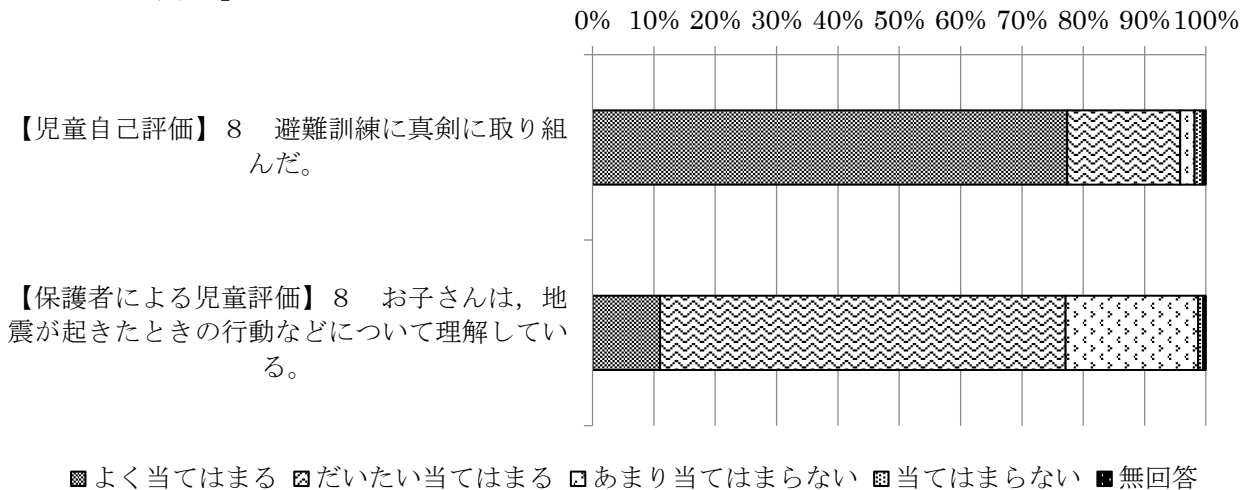


■よく当てはまる ■だいたい当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

【児童による自己評価と保護者による児童評価 7】 「不審者対応」



【児童による自己評価と保護者による児童評価 8】 「防災意識の向上」



【児童による自己評価と保護者による児童評価の比較】 についての考察

どの項目においても、児童が「よく当てはまる」と回答している割合が保護者の回答を上回っています。子供たちが自分自身を見る目よりも、保護者の皆様が子供たちを見る目が厳しいことが分かります。子供たちはまだまだ自分のことを客観的に見えていないのだと思われます。きちんと自分を振り返ることができるような具体的な指導を、学校でも継続していきます。ご家庭でも生活を振り返る場面をぜひ作っていただければ幸いです。